

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 分子シャペロンから理解する動的生命システム
2. 研究代表者： 齋尾 智英（徳島大学 先端酵素学研究所 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題では、相分離制御の分子メカニズムを解明するとともに、相分離操作ツールを開発し、「液液相分離現象」の制御と機能発現のメカニズム解明を目指している。フェーズ1では、構造生物学研究によって相分離制御と破綻のメカニズムを解明し、相分離光操作ツールを開発して試験管内での相分離のインタラクティブ観測を実現するなど研究を着実に進捗している。創発研究者との連携を通して、シャペロンの転写制御に関わる分子の、ストレスセンサーとしての機能を見いだすなど共同研究の成果も得られている。フェーズ2では、引き続き相分離制御の分子メカニズム解明に取り組むと共に、組織やモデル生物における光操作応用が計画されており、細胞内、個体内での解析への展開が期待される。さらに創発研究者との連携による、シャペロン制御因子とストレス応答との関係におけるより詳細なメカニズム解析が期待される。

以上